

今日、こうして卒業式を迎えることができました。今、日本そして世界を襲っている感染症の影響で、例年よりも規模を縮小した卒業式です。しかし、卒業生の皆さん、胸を張りなさい。そして、小学校6年間の自分たちの頑張りに誇りをもって臨みましょう。

私は、校長として皆さんとは、上神明小学校で4年間を一緒に過ごしました。たくさんのお話を教えてきました。今ここでの話が、私からの最後の教えになります。聞いてください。

皆さんが生きていくこれからの世の中は、先の見通しがつきにくく、変化の激しい世の中です。例えば、今のこの状況を一体誰が予想できたでしょうか。そんなこれからは、豊かに力強く生きていくために大切なものは、何でしょうか。それは、「自分で真実を見つめる力」です。

例えば、スマートフォンを使えば、あらゆる情報を一瞬で手に入れることができます。しかし、その中にはデマや嘘や人を貶めるような情報もたくさんあります。だから、様々な角度から情報に触れることが必要です。誰がどんな目的で出した情報かを確認することも大切です。

また、仲の良い友達からラインで流れてくる情報やうわさ話も、鵜呑みにしてはいけません。それは事実だろうか。どんな根拠があるのだろうか。なぜ、そんなことになっているのだろうか。などと情報を疑ってみることも大切です。場合によっては、直接本人に確かめたり、現場に行ってみたりすることも大切です。

いじめや詐欺などの問題は、ほとんどの場合、怪しい情報に惑わされることによっておこります。怪しい情報を信じてしまうと、自分までもがその怪しい情報の次の発信者になってしまいます。

「自分で真実を見つめる」ことができると、自信をもって行動できるようになります。確かな行動ができるようになります。そして、周りからも信頼されて、リーダーシップが身に付いてきます。

「自分で真実を見つめる」ためには、自分の目で見ると、自分の足を運ぶ。自

分から関わっていく。そうした心がけが大切です。真実を知るためには、手間や時間を惜しまないようにしましょう。それが、変化の激しい時代を生き抜いていくために必要なたしなみです。時代や世の中がどのようなものであっても、肝心なことは、皆さんが「どのように生きていくのか」です。小学校6年間の生活の中で、皆さんは、自分で考える力を十分に養ってきました。「自分で真実を見つめる」ことを心がけて下さい。そして、力強く前進して行ってください。応援しています。

保護者の皆様、お子様の卒業おめでとうございます。小学校6年間の中には、お子様や学級のこと、お悩みになったこともあったかと思えます。しかし、長きにわたって、子どもたちのために、学校に惜しみないご協力をいただきました。改めて御礼申し上げます。

以上、式辞といたします。

令和元年三月二四日

品川区立上神明小学校長 松崎 行雄